

令和4年度

事業報告書

特定非営利活動法人野付・エコ・ネットワーク

1. 事業名

「野付半島の浜辺の清掃活動」

2. 事業目的

「野付半島の浜辺の漂流ごみや廃棄ごみなどの清掃活動を通して浜辺の環境保全とエゾシカなどの野生動植物の保護の促進を図る」

3. 事業内容

① 野付クリーン作戦（標津町・別海町各一回）

野付半島は2つの行政区（標津町・別海町）にまたがっているが、その行政区を越えて浜辺の清掃活動を、年間2回実施する。

② 浜辺清掃活動（羅網ジカ発生防止の為の漂流物回収等）

羅網ジカ（網やロープが角に絡まり衰弱するエゾシカ个体）の発生を防ぐ目的で、浜辺の漂着ごみや廃棄ごみの回収と整理を行う。（年間1回実施）

③ 羅網ジカ対応活動

万が一、羅網ジカが発生した場合、麻酔処理（外部発注）をしての除去作業を計画している。・・・・・・自己資金での対応

* 合わせて年間3回の「野付半島の浜辺の清掃活動」を計画した。

4. 活動の様子

① 野付クリーン作戦（標津町・別海町各一回）

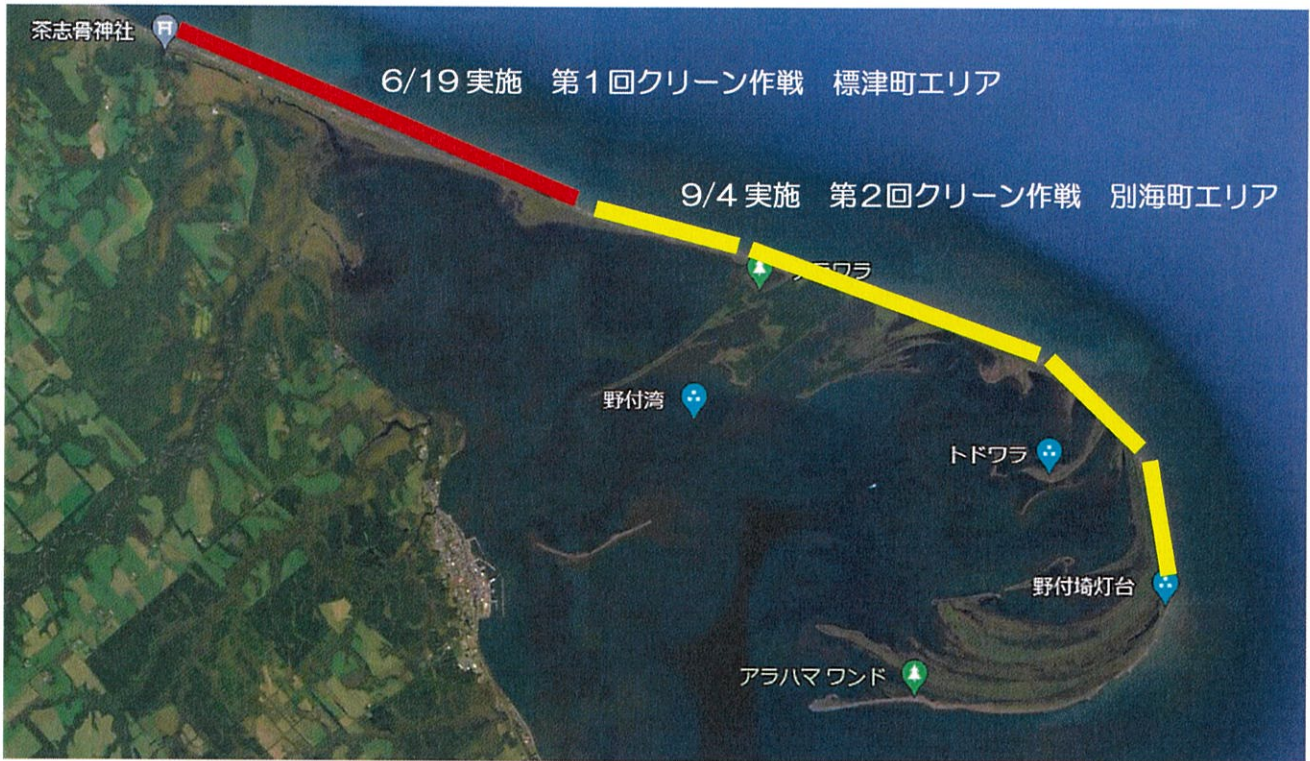
（活動内容）

*活動日 標津町エリア 令和4年6月19日（日曜日）・・・ 19名参加

別海町エリア 令和4年9月4日（日曜日）・・・ 12名参加

*参加者 標津町エリア19名、別海町エリア12名・・・ 合計31名参加

*活動場所 【北海道標津郡標津町・野付郡別海町 野付半島】



*作業の内容

班ごと（一班4～5名）に清掃エリアを徒歩で、燃えるゴミ、燃えないゴミに分別して清掃活動を行った。

6月19日（日曜日）野付クリーン作戦【標津町エリア】の様子



自分の住む町を綺麗にしたいと参加したご夫婦



近くのゲストハウスのご主人も参加



砂丘の草の中にもゴミが沢山



車両が行き交う道路沿いでの作業の様子



粗大ごみも可能な限り回収しました



ペットボトルと缶類は分別

9月4日（日曜日）野付クリーン作戦【別海町エリア】の様子



作成した安全ベストを着用しての作業



一班の担当範囲は、3～4 km



粗大ごみ用に重機も参加しています



ゴミ袋を色で区分しています



作業後の記念撮影

*購入物等【安全ベスト作成/用具類】

・安全ベスト作成

1回目の活動後の反省で、道路沿いの清掃活動を安全に行うために安全ベストが必要とこのことから、「公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構」の名前をいれた安全ベスト50着を作成した。

・火バサミ/防水シート等の購入



助成金で作成した安全ベスト（50着）



② 浜辺清掃活動（羅網ジカ発生防止の為の漂流物回収等）

（活動場所）



（作業内容）

- * 海岸線の漂流物の中から、網やロープなどエゾシカの角に絡まる可能性がある漂着ごみを回収する。
- * 羅網ジカ対策の作業班7班と浜辺の漂流物のゴミ拾い班2班、合計9班を編成して活動した。
- * 漁業者の施設や管理物には触らない。

（活動の様子）

- * 実施日 : 令和4年12月11日（日曜日）9:00～12:00
- * 参加者 : 31名



作業前の打ち合わせ



漂流物回収第1班の活動の様子



第5班成漁水産番屋付近の作業



漂流物回収第2班の活動の様子



第4班オホーツク水産番屋付近の作業



第7班三晃水産番屋付近での作業



作業後の集会の様子 (野付半島ネイチャーセンター)



回収された漂流物 (約 350kg)

5. 事業成果

【野付クリーン作戦】

野付半島は標津町と別海町に行政区がまたがっているため、ゴミ処理場の関係でそれぞれの行政区毎に、清掃活動日を分けて実施した。標津町エリアは、6月19日(日)に19名の参加者で行った。別海町エリアは、9月4日(日)に12名の参加者で行った。

今回の「野付クリーン作戦」の成果は、以下の通りです。

- ① 野付半島の観光客が通行できる舗装道路が敷設されている20km程の道路両側と海岸部を清掃することができた。(標津町・別海町)

- ② 2回の清掃活動で合計31名の一般住民や地元の漁業者などが協力して活動できた。
- ③ 2回の清掃活動の様子が新聞等で紹介され、参加者以外にも野付半島の現状を知って頂く良い機会となった。また、海洋ゴミ等の削減の重要性や海を守ることの大切さを啓発できたと考えている。

【浜辺清掃活動（羅網ジカ発生防止の為の漂流物回収等）】

浜辺の清掃活動は、野付半島で行われている「鮭の定置網」の活動が終わり、番屋の活動が休止する12月11日（日曜日）に行われた。

活動の主な目的は、海の漂流物である廃棄された漁網やロープなどが、野付半島の海岸線に漂着し、その漂着物が冬季に餌を求めて集まってきたエゾシカの角に絡まる「羅網ジカ」の発生を防止することである。「羅網ジカ」はその絡まり方の程度はあるが、次第に餌である枯草などを摂ることが難しくなり衰弱してしまう個体が多い。

そこでエゾシカの角に絡まりそうな海の漂流物や廃棄された漁網やロープ等を回収して「羅網ジカ」の発生を防ごうとする試みである。

今年度は、12月11日（日曜日）に31名の参加者が集まり、例年「羅網ジカ」の目撃例が多い野付半島オンニクルから竜神崎灯台付近までの範囲で9班に分かれて浜辺清掃活動を行った。

今回の「浜辺清掃活動（羅網ジカ発生防止の為の漂流物回収等）」の成果は以下の通りである。

- ① この活動が始まったのが令和3年度からであるが、それ以前は10頭前後の「羅網ジカ」が毎年発生していたのが、浜辺清掃活動を行った令和3年度は3～4頭の「羅網ジカ」の発生件数となっている。今年度はまだ清掃後の効果は分からないが、昨年度と同等以上の効果は期待できる。
- ② 新聞社2社（北海道新聞・毎日新聞）、テレビ放送1社（HTB）の報道もあり、野付半島の浜辺の清掃活動と羅網ジカの発生を防止する活動の重要性と啓発的な大切さは今回の活動を通して広がりつつあると思っている。



令和3年に発生した「羅網ジカ」



TVニュースでの映像

野付半島クリーン作戦1【標津エリア】

野付半島が様々な野花で彩られる季節を迎える前に、
ゴミ拾いのボランティア活動をご一緒しませんか？

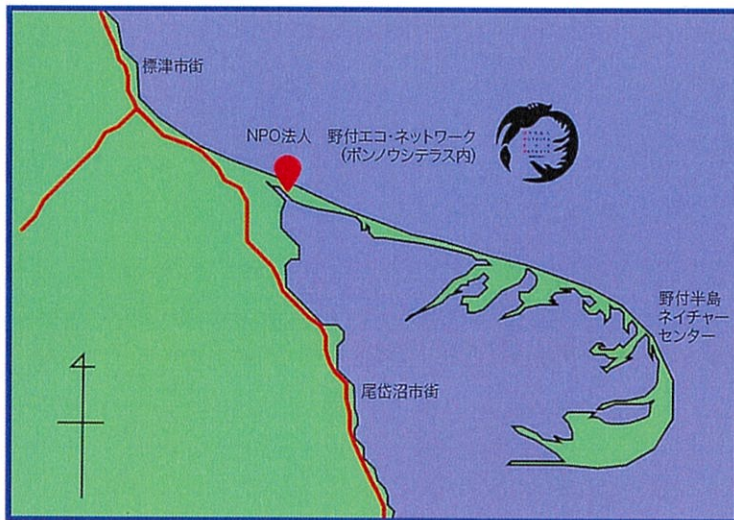
令和4年度なぎさの環境基金助成金事業

実施日時 令和4年6月19日（日）（荒天中止）中止の場合、電話連絡します。
午前9時～12時

集合場所 NPO法人野付・エコネットワーク事務所（ポンノウシテラス内）

実施内容 野付半島基部～野付半島標津町エリアの道道周辺の清掃
活動をします。

服装／持物 野外活動に適した服装、雨具、帽子、軍手、運動靴か長靴、
水分補給用飲み物



所在地図

主催：NPO法人 野付エコ・ネットワーク

お問い合わせ

E-mail

notuke.eco
@gmail.com

または

ブログ連絡フォーム

https://
notukeeco.blogspot.com



野付半島クリーン作戦 2【別海エリア】

野付半島が様々な野花で彩られる季節を迎える前に、
ゴミ拾いのボランティア活動をご一緒しませんか？

実施日時 令和4年9月4日(日) (荒天中止) 中止の場合、電話連絡します。
午前9時～12時

集合場所 NPO 法人野付・エコネットワーク事務所 (ポンノウシテラス内)

実施内容 標津町界から竜神崎付近までの道道周辺の清掃
活動を行います。

服装／持物 野外活動に適した服装、雨具、帽子、軍手、運動靴か長靴、
水分補給用飲み物



所在地図

お問い合わせ

E-mail

notuke.eco
@gmail.com

または

ブログ連絡フォーム

[https://
notukeeco.blogspot.com](https://notukeeco.blogspot.com)

主催：NPO 法人 野付エコ・ネットワーク



*** この事業は、公益財団法人 海と渚環境美化・油濁対策機構の助成金を受けて活動しています。**

企画・運営 NPO 法人野付・エコ・ネットワーク

2022 浜辺の清掃活動

羅網シカを発生させない為に



* 羅網シカとは？ : 浜辺に流れ着いたゴミやロープ・網などが角に絡みついてしまい、餌が十分に採れないで衰弱してしまうエソシカのこと。野付半島では増加傾向にあり、その原因となる漂着ごみ等の除去が効果的です。

NPO 野付・エコ・ネットワークでは、羅網シカを発生させない為に、その原因となっている「漂着ごみ」を拾い集める清掃活動を、今年度も企画いたしました。ご協力よろしくお願いします。

浜辺の清掃活動

日時 12月11日(日) 9:30 ~ 12:00

集合 ポンノウシテラス前集合(野付半島標津町茶志骨)

内容 漂着ごみ等の回収

主催: 特定非営利活動法人野付・エコ・ネットワーク

協力: 野付漁業協同組合

野付半島ネイチャーセンター

野付半島ネイチャークラブ

令和4年度なぎさの環境基金助成金事業



